

H25.9.19作成

# 公共事業に係る効果等について

## 地域水田農業支援緊急整備事業

### 橋下地区

(農地整備課)

# ○事業概要

○事業名 地域水田農業支援緊急整備事業

○地区名 橋下地区

○所在地 武雄市北方町

○工期 平成16年度～平成18年度

○総事業費 172,200千円

○事業内容 暗渠排水 A=157.9ha

○整備前状況

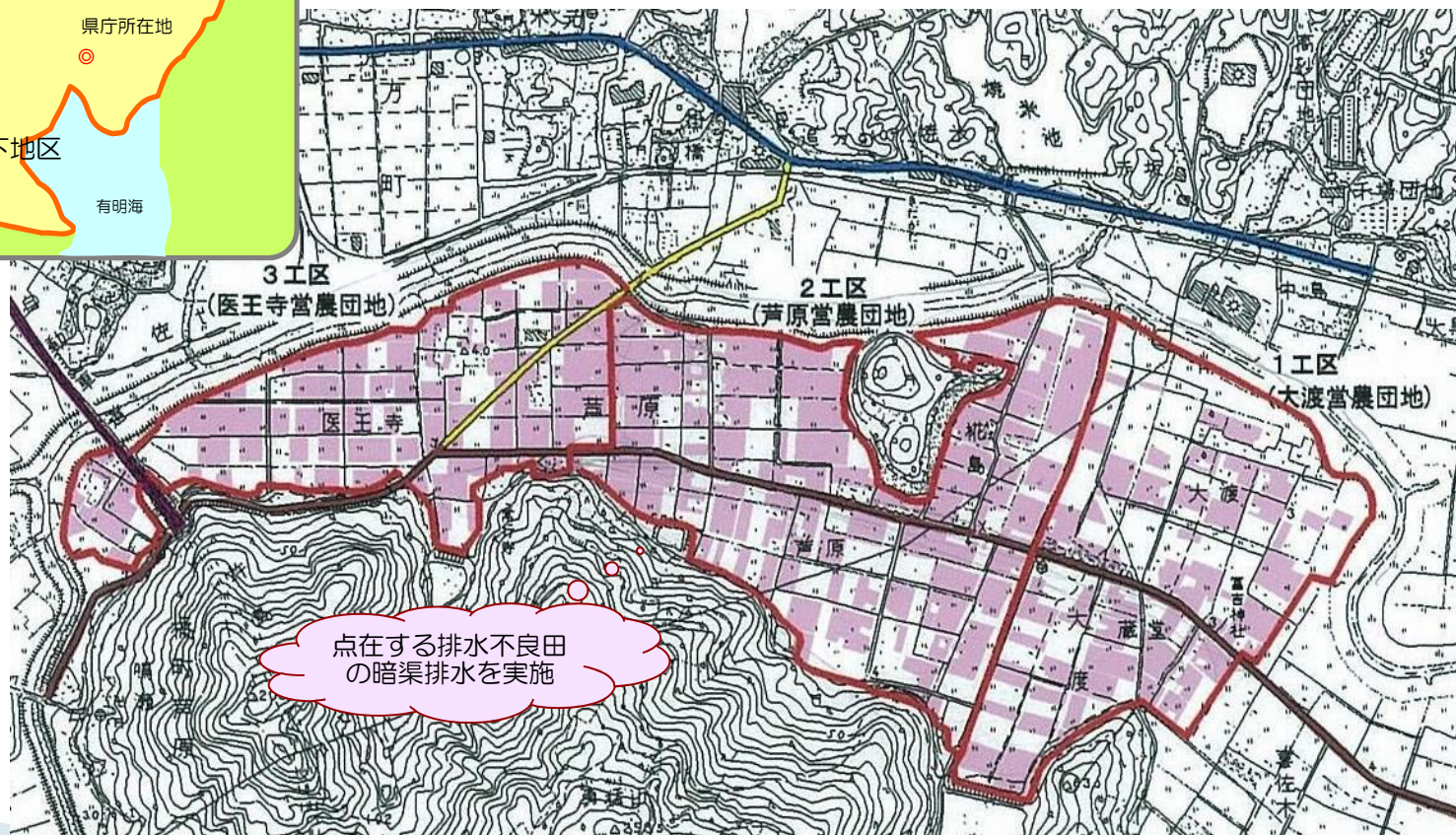
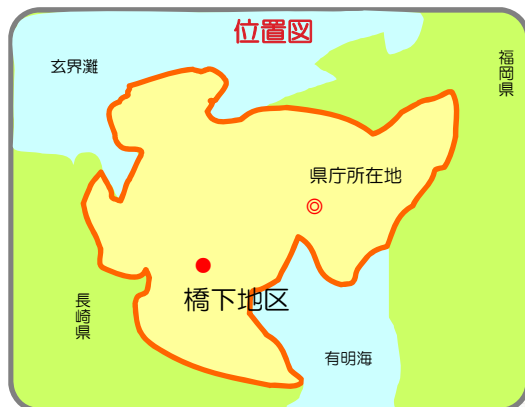
農地の排水不良が生じ、計画的な作付けや担い手への農地集積といった効率的な農業経営の展開が阻害。

○整備内容

農地の排水対策(暗渠排水)を実施。



# ○事業位置



# ○事業目的・効果

## 事業目的

地域の特性に応じた水田の有効利用や地域農業の振興を支援するため、耕地の汎用化をはじめとした農用地の高度利用や水田の畑地化等、地域の主体性を活かした条件整備を機動的かつ緊急的に行う。

## 事業効果

- ・農地の排水条件が改善された。
- ・乾田化により労働時間が短縮された。(大型機械の導入が図られた)
- ・小麦、玉ねぎの収量増が図られた。
- ・担い手農家への農地集積が進んだ。



# ○整備前状況

機能低下した暗渠排水



△ 変形し目詰まりした排水管



△ 腐食した疎水材（もみがら）

排水不良の農地



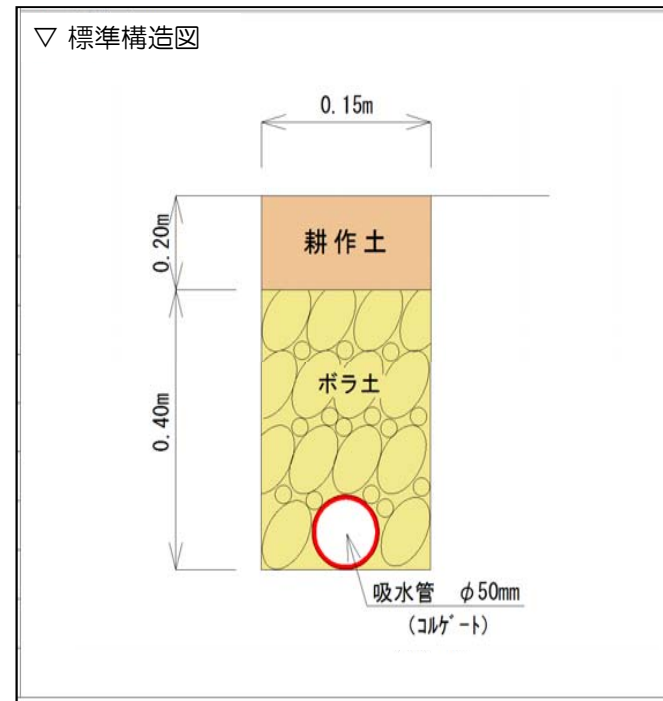
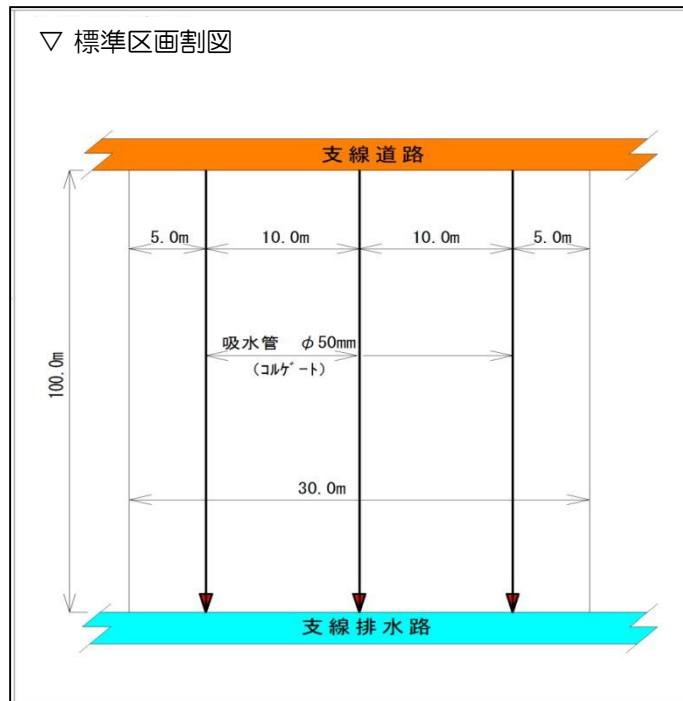
△ 排水が悪い農地

▽ 生育不良の大豆



△ 生育不良の麦

# ○整備計画(標準図)





# ○施工状況

▽ トレンチャー施工



▽ 疎水材（ボラ土）



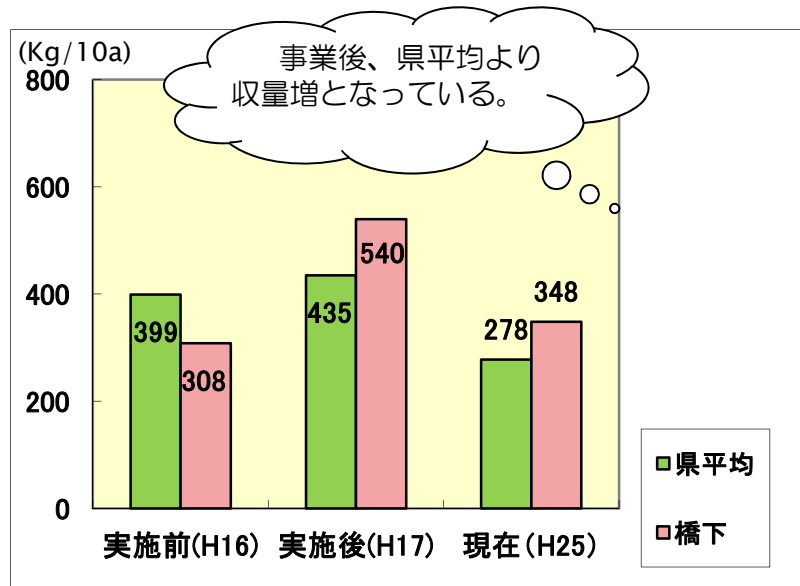
ボラ土【ほらつち】

比較的新しい火山活動により噴出した軽石が堆積したもので、宮崎県、鹿児島県に分布する。耐久性・排水性が高く暗渠排水の疎水材に適している。また、エビネなどの園芸用土や、ゴルフ場、野球場などの客土としても用いられる。

# ○事業効果(1)

## ◆◇乾田化による畑作物の収量増◇◆

▽小麦



H19以降は、小麦品種を変更(めん用→パン用)して作付けされている。(H24はパン用小麦データ)

▽生育が良好な小麦

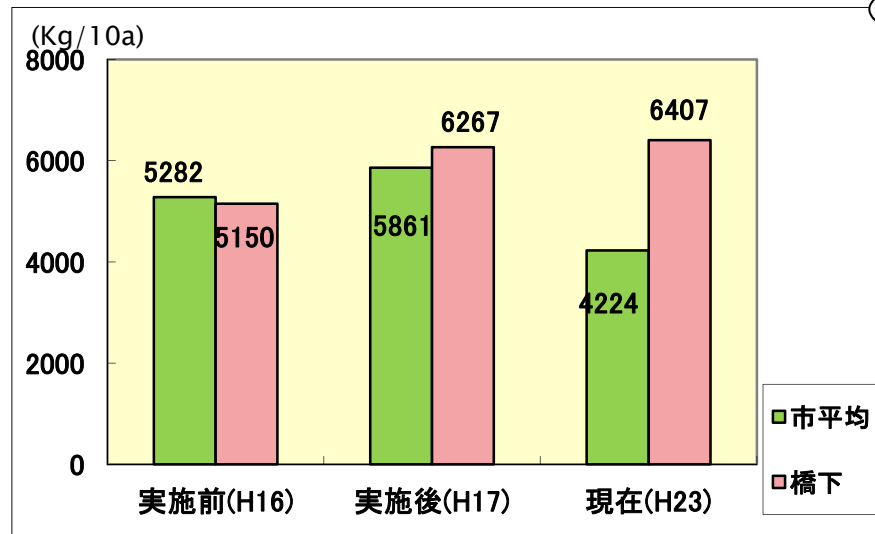




# ○事業効果(2)

## ◆◇乾田化による畑作物の収量増◇◆

▽ たまねぎ



排水が良くなり、適期作業ができるようになった。



# ○事業効果(3)

## ◆◇担い手への農地集積率◇◆

事業を契機に、担い手への  
農地集積を加速化！

※担い手農家への集積率  
【H16】 【H22目標】  
31% → 61%

項目	地区農地面積(ha)	担い手経営面積(ha)	集積率(%)	備考
現況(H16)	216.0	66.5	30.8	計画時
事業完了時(H18)	216.0	100.3	46.3	〃
目標年度(H22)	216.0	131.0	60.6	〃
実績(H22)	216.0	166.4	77.0	

### 受益者の声

水はけが良くなったことで大型機械での作業が行えるようになったことや、水管理、除草などの作業時間が短縮できたことで、農地集積が進んだ。

# ○県民の意見

## 【メリット】

○排水の悪い農地だったが、暗渠排水事業を取り組んだことにより作物の生育が良くなり、収量アップした。

○排水が良くなり、耕起等適期作業が行えるようになった。また、雑草の繁茂がなくなり、作業手間が省けた

○担い手への農地集積が進み、経営が安定した。

## 【今後の管理】

○良好な排水状況を持続するため、一部箇所では管の洗浄等メンテナンスが必要となっている。



# (参考1)事業効果

## ◆◇未整備箇所との水稲生育状況比較◇◆

同時期に作付けした水稲(写真:H25.9.12)

▽ 未整備 (事業参加なし)



水はけが悪い

▽ 整備 (受益者)



水はけが良い

### 受益者の声

暗渠排水整備したことで、水管理が容易になり、同時期に作付けした水稲だが、生育に差がでている。

# (参考2) 事業効果

## 暗渠排水の効果事例(大豆)

一部が湿田のため、  
生育不良がある。



(排水不良田の生育状況)

排水不良田に  
作付すると・・・



(排水不良田)

暗渠排水の実施  
で、作物の生育  
が良好。



(整備済田の生育状況)